



since  
1954

02  
2026令和8年  
No.1303

かつて玖波の町には多くのお店がありました。八百屋、魚屋、米屋、酒屋、駄菓子屋、食堂、衣料品、文具や日用雑貨などなど。まち全体がスーパー・マーケットだったような時代です。そんなお店に掲げられていた看板が玖波公民館に飾られ、来館者を迎えてます。どこか懐かしい昭和の香りを感じさせてくれている看板の数々です。

現在の公民館の建物は、昭和49年に建てられ半世紀以上の時が流れました。公民館自体もレトロな雰囲気の昭和感を漂わせています。数々の歴史を刻んできた公民館も今年の夏でいったん幕を閉じ、現在の場所の隣に、歴史を継承し未来へとつなぐ新たな施設に生まれ変わります。



12月21日 玖波公民館

レトロな看板たちに囲まれているのは、大好き大竹応援大使の三宅由利子さん。公民館で催された『KUBA舞踏会 昭和なダンスパーティー』にサプライズ参加し、歌声を披露しました。【関連記事5ページ】